



# 子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
http://www.kodomono-mori.net mailto:info@kodomono-mori.net

J P子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2021年1月号)

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、  
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



2021年、あけましておめでとうございます。

新しい年となりましたが、感染症の状況はますます厳しさを増しています。

参加園におかれましては、終わりの見えない厳しい保育の日々を過ごしておられることと思います。

ただ、葉を落として厳しい冬の寒さに耐えている苗木も、春になればまた新たに芽吹いてくれます。

『きっと、春は来る！』事務局では、そんな自然の摂理を信じて、これからも活動を推進してまいりたいと思います。

本年もよろしくお願い申し上げます。

(目次)

1. 「保育防災アクションマイスター認定講座」受講園(者) 募集開始
2. J P子どもの森づくり運動【WITHコロナ】秋の活動レポート
3. 「園庭緑化運動」リレーエッセイ(2021年1月号)
4. 事務局からのお知らせ

## ■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

## ■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育園連盟

NPO法人 富良野自然塾

(公社)大谷保育協会

(公社)こども環境学会

保育環境研究所ギビングツリー

国際校庭園庭連合日本支部

(公社)国土緑化推進機構

(一社)日本森林インストラクター協会



## 1. 「保育防災アクションマイスター認定講座」受講園（者）募集開始

「自然・環境体験活動」、「園庭緑化運動」に続いて、J P 子どもの森づくり運動が、新型コロナウイルス感染症下の中で、“こんな時だからこそ”をテーマに新しくご提案する保育力のスキルアップを目指す研修講座です。

今や災害列島化した我が国においては、保育・幼児教育施設（以下、保育施設）における防災対策は待ったなしです。しかしながら、そもそも多くの幼児(少)期子どもたちを預かっている保育施設では、通常の防災対策は通用しません。また、それぞれの保育施設のおかれている立地環境によって多様な自然災害が想定され、一律な防災活動では対応できません。実効性のある対策としては、それぞれの施設に、いわゆる「保育防災リーダー」を配置し、リーダーが中心になって園全体で施設独自の防災の仕組みづくりと防災意識を高めることに取り組むことでしか実現できないと考えます。



そのような状況を踏まえ、J P 子どもの森づくり運動では、2020年度に、**消防庁防災アドバイザー 鎌田修広氏**（㈱タフ・ジャパン代表取締役 / 写真左）と共に、保育施設に特化した防災のスキルと高い防災マインドを持つ「保育防災リーダー」の養成を目指す**「保育防災アクションマイスター認定講座」**の仕組みづくりに取り組み、2021年度2月から受講園（者）の募集を開始します。

さらに、保育防災活動には、地域や保護者との情報共有と連携が必須です。「保育防災リーダー」には、自園で取り組んでいる防災活動の積極的な地域への情報発信も求められます。認定講座では効果的な情報発信のノウハウも提供したいと思います。

「保育防災リーダー」に何よりも求められるのは、“**災害時に、子どもの運命を変えるのはわたしたちだ！**”という強い決意です。単に役職として務めるのではなく、志を持って自ら率先して動いていただかねばなりません。だから**「防災“アクション”マイスター」**なのです。**今や優れた保育防災活動は、園の価値を高める時代です。**今回の取り組みが、「保育防災」の普及、及び保育のあらたな価値向上に少しでも役立つことを願っています。皆さんの積極的な参加をお待ち申し上げます。詳細は、別紙パンフレットをご参照下さい。

### 【講座概要】

1. 運営：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）

2. 運営協力：㈱タフ・ジャパン

3. 特別協賛：日本郵政グループ

4. 協力：全国私立保育園連盟 大谷保育協会 子ども環境研究所「ギビングツリー」他

5. 講座概要

**1) 講座運営期間：2021年4月～2022年3月（第一期） / 以降、毎年同じ期間で運営予定**

**2) 受講生募集期間：2021年2月～3月末（第一期生） / 以降、毎年同じ期間で募集予定**

**3) 募集人数：各園2名までを資格認定対象者として、上限12園（24名）を募集（先着順）**

4) 講座内容

講座は、消防庁防災アドバイザー 鎌田 修広氏（㈱タフ・ジャパン代表取締役）による、原則、年6回のOnlineによるワークショップ形式（WS）形式で進行されます。

5) 資格認定

講座受講の集大成として、毎年2月に開催予定の、J P 子どもの森づくり運動「全国集会 & 研修会」会場にて成果発表を行っていただき、その発表内容をもって「保育防災アクションマイスター」としての資格認定を行います。

**6) 受講料：3万円（年間 / 園）**

**\* 各園2名までを資格認定対象者とします。（Online講座には何人でも参加できます。）**

**7) 受講申し込み方法：別紙パンフレット内申し込み用紙にご記入の上、子森ネットまでお申し込み下さい。**

**\* 2月に開催される「全国集会 & 研修会2021」Online大会の二日目は、「保育防災」をテーマに開催されます。保育防災、及び上記認定講座に興味をお持ちの方は、是非、ご参加下さい。詳細は、ホームページをご参照下さい。**

## 2. JP子どもの森づくり運動【WITHコロナ】秋の活動レポート

“こんな時だからこそ”をテーマに、「外遊び」や自然・環境体験活動のスキルアップを目指そうという保育者を対象に、「自然・環境体験講座全国キャラバン2020」が全国で開催されました。以下、ダイジェストですが活動をレポートします。活動の詳細は、ホームページでご覧いただけます。

### 【福岡県「味坂保育園」】

・日時：2020年10月17日(土) ・場所：保育園広場 ・参加者：保育士12名

・インストラクター：塚原インストラクター（子森ネット）



今回の講座は、保育士の方々と一緒にネイチャーゲームを行い、今後の保育に役立てていただくためのノウハウを学んでいただきました。子どもも大人も楽しめるのがネイチャーゲームの特徴です。楽しみながら自然について学べるゲームを行いました。

- ・ノーズ
- ・生きもの当てゲーム
- ・森の色合わせ
- ・フィールドビンゴ
- ・サウンドマップ

生きもの当てゲームでは、自分の背中に貼っている生きものを想像力を働かせて当てるゲームですが、なかなか正解を見つけられません。みなさん、子どものように無邪気になってゲームを楽しんでいました。フィールドビンゴでは、カードに書かれたものを触覚や聴覚を使って探しながら、自然と触れ合うことに気づきもらいました。



参加された保育士さんからは、「大人も一緒に楽しめる」「保護者にも紹介したい」「明日からすぐに実践できる」などの感想をいただきました。

by：子森ネット塚原

### 3. 「園庭緑化運動」リレーエッセイ (2021年1月号)

「園庭緑化運動」の普及を目的に、園庭緑化・自然化についてすぐれた研究や活動に取り組んでいらっしゃる四人の方々のリレーエッセイを掲載しています。「子森通信」2021年1月号から3月号は、園庭研究所 代表 石田佳織さんにお願しました。新連載第一回目のご寄稿です。

#### ～子どもの経験から、園庭緑化を考えよう！～

園庭研究所 代表／東京大学発達保育実践政策学センター 園庭調査研究グループ 石田佳織氏



皆さまこんにちは。園庭研究所の石田佳織と申します。園庭や幼児と自然について、園の先生方や保護者さんと一緒に考える研修やワークショップ、研究支援をさせて頂いております。また、東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）の園庭調査研究グループの一人として、園庭や地域での保育・幼児教育についての調査研究を行なっています。調査にご協力下さっています全国の園の先生方、いつも本当にありがとうございます。

さて今回は、子どもの経験についてお話をさせて頂ければと思います。あなたは、もしくは貴園では、園庭緑化・自然化を通して子ども達がどんな体験をできると良いな、と思われていますか？園庭を考える際には、まずはこの「子どもたちにどのようなことを経験して欲しい？」を考えて頂ければと思います。ここを考えることで、子どもたちの経験も充実していきますし、「ではそのための環境は？」「使い方やルールは？」「保育者の関わり方は？」とつなげて、園庭での保育・幼児教育全体を考えて行きやすくなります。もしくは「草木や自然に関して、こんな環境があったら良いな！」というイメージから、「では、そこでの子どもの経験を深めるためには？」と考えて頂くのも良いかもしれません。

例えば、ある園さんでは、「子どもたちが多様な物と出会う経験ができると良いね」と話し合われ、「じゃあ、虫に出会える環境があると良いね！」→「虫が息づく雑草地を設けよう！落ち葉や木の枝をそのまま置いておく場所を作ろう！」と考えられました。そして、園庭の一角に色々な草木や虫、鳥が暮らす空間を育てられています。木を一本植える際にも、子どもたちに経験して欲しいことによって、適した樹種も、どの位置に植えるかも変わってくるかと思えます。また、すぐにでも実りや木陰を楽しめるようにそれなりに育った木を植えるのか、木が育っていく過程も子どもたちが楽しめるようにタネや苗から育てるのか。



豊島区立池袋第二保育園さん  
園舎裏の「ふくろうの森」

どうですか？こんな風に、「子どもの経験」を中心に置いて考えられると、色々なアイデアが浮かんで来て、先生ご自身もわくわくしてきませんか？そして、もしよければ、子どもたちとも「どんな事をしたい？」と対話し、一緒に園庭緑化・自然化を楽しんで頂ければと思います。

#### ○著者information

- ◆園庭研究所 HP : <https://ameblo.jp/hagukumino-niwa>
- ・Facebookグループ「園庭・地域環境での保育 交流グループ」（園庭や地域での保育・教育に関する話題を通して自由に交流して頂けます。） <https://www.facebook.com/groups/ecec.outdoor>
- ◆東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）園庭調査研究グループ  
HP : [http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp//projects\\_ongoing/entei/](http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp//projects_ongoing/entei/)
- ◆著者園庭書籍：『園庭を豊かな育ちの場に 質向上のためのヒントと事例』ひかりのくに

### 4. 事務局からのお知らせ：「全国集会＆研修会2021」Online大会参加者募集締切り日延長のお知らせ

1月29日(金)までとなっておりました「全国集会＆研修会2021」Online大会の参加者募集締切り日を、2月10日(水)まで延長させていただきます。あらためてご参加をご検討願います。詳細・参加申し込み方法は、ホームページをご参照下さい。